

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人追分あけぼの会

1. 令和4年度重点目標に対する評価

(1) 信用及び透明性のある法人運営

今年度は、地域における社会福祉法人として地域住民をはじめとする関係機関との信頼関係はもとより、各事業所を利用されている利用者そして家族との更なる信頼関係の構築を目標として取り組んで参りました。状態に変化が見られた際には随時連絡を行い、家族が遠方の場合には定期的に状態報告を行い、家族と事業所間における共通認識に努めるなど、各事業所において密な連絡を行うことで信頼関係を構築できたと考えております。次年度については、引き続き各事業所において利用者及び家族との信頼関係の構築に努めると共に、質の高い実践を積み重ね、信頼性の高い経営実践をもって透明性のある安定した法人運営に努めて参ります。

(2) 感染症対策の徹底

今年度は、収束の見えない新型コロナウイルス感染症に対し、各事業所において施設内の消毒や換気、職員については、出勤前・出勤時の体温測定と手指消毒、マスクの着用を徹底するなど感染症予防に努めて参りました。次年度については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ変更となり、面会の在り方などこれまでの対応と変更となることも予測されることから、情勢を見極め利用者及び職員の健康を最優先とした感染症予防を継続し、発生させないことに重点を置いた対応に努めて参ります。

(3) 人材の定着及び人材確保のための体制構築

今年度は、従来の求人掲載やインターネット、人材派遣、人材紹介などに加えて、当法人で初めてとなる外国人労働者の受入れを行うなど、多種多様な手段を活用し、様々な雇用形態での人材確保に努めて参りました。次年度は、介護及び保育事業における人材の確保が慢性的な課題と考えられることから、情勢を伺いながら外国人労働者の受入れを検討すると共に、当法人のスケールメリットを積極的に発信することで新たな人材を確保し、在籍する職員に対しては各事業所が働きやすい環境となっているのか等を確認することで、人材の確保及び在籍する職員の定着に努めて参ります。

(4) 法人本部の役割と機能の再構築

今年度は、法人本部に主任事務員を配置するなど、法人本部における総務、財務、人事、育成、情報などを効率的に展開する体制の基盤を構築できたと考えております。次年度は、法人全体の業務効率及び各事業所における事務業務を把握し、業務における課題を明確にすることで更なる効率化と適切な業務改善に努めて参ります。

2. 理事会の開催状況

- (1) 第1回理事会 (令和4年 4月27日 開催)
- (2) 第2回理事会 (令和4年 6月14日 開催)
- (3) 第3回理事会 (令和4年 9月27日 開催)
- (4) 第4回理事会 (令和4年10月14日 開催)
- (5) 第5回理事会 (令和4年10月25日 開催)
- (6) 第6回理事会 (令和4年11月25日 開催)
- (7) 第7回理事会 (令和4年12月16日 開催)
- (8) 第8回理事会 (令和5年 3月23日 開催)

3. 評議員会の開催状況

- (1) 第1回 (定時) 評議員会 (令和4年 6月28日 開催)
- (2) 第2回 (随時) 評議員会 (令和4年10月14日 開催)

4. 監事による法人内部監査の実施状況

- (1) 第1四半期法人内部監査 (令和4年 6月10日 実施) ※経理、事業所
- (2) 第2四半期法人内部監査 (令和4年 7月29日 実施) ※経理
(令和4年 9月14日 実施) ※事業所
- (3) 第3四半期法人内部監査 (令和4年10月31日 実施) ※経理
(令和4年12月 8日 実施) ※事業所
- (4) 第4四半期法人内部監査 (令和5年 1月30日 実施) ※経理
(令和5年 3月 3日 実施) ※事業所